

# 市議会だより

平成29年第3回定例会



対象施設(甌島館)



甌島館の外壁ひび割れの調査



甌島館従業員からの説明



甌島館に関して各種団体との意見交換(里公民館)

企画経済委員会が甌島地域宿泊施設整備支援事業の対象施設などを調査(10月12日 里町)

- 平成28年度決算 ..... 2  
歳出総額823億2162万円を認定
- 総括質疑並びに一般質問 ..... 5
- 私たちが慎重にチェック(委員会報告) ..... 12

平成28年度決算

歳出総額 **823億2162万円**を認定

— 会期を19日間延長 —

平成29年第3回定例会は、当初8月23日から10月4日までの会期でしたが、補正予算に計上された甌島地域宿泊施設整備支援事業を審議するため、会期を19日間延長し、10月23日までの62日間で開催しました。今定例会では、歳出総額823億2162万円となる平成28年度各会計決算を認定したほか、補正予算など議案22件を可決。また、人事案件4件に同意し、陳情2件のうち1件を採択、1件を閉会中の継続審査としました。

**実質収支**  
24億8千万円の黒字決算

平成28年度歳出決算における支出総額は、一般会計で542億5135万円、13特別会計で280億7027万円となり、歳出総額で823億2162万円となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支は、24億8117万円の黒字決算でした。

▼監査委員の審査意見から

(抜粋)

①経常収支比率は、平成27年度と比較して改善されているが、適正な水準(70%～80%程度)より高くなっている状況が続いている。②財政面においては、市政運営の効率化と併せ、財政運営プログラムの定期的な検証と

着実な推進により、今後も安定した財政運営に努めるとともに、市民福祉の向上及び市勢発展のための諸事業を費用対効果に十分留意しながら実施していただきたい。③執行面においては、職員一人ひとりが的確な財務処理と適正・効率的な執行に十分留意し、事務・事業の評価も常に行いながら、引き続き透明性の確保並びに経費節減に努めていただきたい。

■ 決算については、次のとおり  
■ 反対討論がありました。採決の結果、いずれも認定されました。

【反対討論】

井上 勝博 議員

【一般会計】

①不要不急の箱物事業のために多額の税金を費やしている。②一般会計から国保・介護保険事業特別会計等への法定外繰出し

■平成28年度 一般会計及び特別会計決算状況

会 計 名		歳 入 総 額	歳 出 総 額	形 式 収 支
一 般 会 計		566億9,029万円	542億5,135万円	24億3,894万円
特 別 会 計	簡易水道事業	3億6,038万円	3億4,354万円	1,684万円
	温泉給湯事業	9,273万円	8,527万円	746万円
	公共下水道事業	6億1,520万円	6億420万円	1,100万円
	農業集落排水事業	1億9,895万円	1億9,895万円	0円
	漁業集落排水事業	7,385万円	7,385万円	0円
	浄化槽事業	1,419万円	1,419万円	0円
	天辰第一地区土地区画整理事業	6億9,839万円	6億4,512万円	5,327万円
	天辰第二地区土地区画整理事業	2,020万円	1,903万円	117万円
	入来温泉場地区土地区画整理事業	4億50万円	3億9,929万円	121万円
	国民健康保険事業	138億6,560万円	135億2,060万円	3億4,500万円
	国民健康保険直営診療施設勘定	8億9,078万円	8億9,078万円	0円
	介護保険事業	105億1,039万円	101億2,140万円	3億8,899万円
	後期高齢者医療事業	11億5,684万円	11億5,405万円	279万円
13特別会計の合計		288億9,800万円	280億7,027万円	8億2,773万円

※ 千円未満の端数処理の関係で、総額及び形式収支が一致しない場合があります。

■平成28年度  
全会計における市債と基金の残高

区分	年度末残高	前年度比
市債	574億 625万円	93.2%
基金	225億 301万円	103.6%

を増やすべきである。③小中一貫教育については、専門家が教育効果を疑問視する中、多額の小中一貫校の建設を進めている。④まちづくりを川内原発に依存している。⑤支所縮小の検討は、総合支所として支所を残すとする合併時の公約に違反する。⑥乳がん検診の対象年齢を30歳以上から40歳以上へ引き上げたことは制度の後退である。⑦マイナンバー制度は廃止に向けた議論を行うことが必要である。

【国民健康保険事業特別会計】

一般会計からの法定外繰出しを増額し、国保税を下げるべきである。

■平成28年度 公営企業会計決算状況

公営企業会計名		決算額
水道	収益的収入	18億 1,238万円
	収益的支出	14億 9,200万円
事業	資本的収入	2億 7,887万円
	資本的支出	11億 6,222万円

【介護保険事業特別会計】

介護保険料の負担を軽くするため、一般会計からの法定外繰入れをすべきである。

【後期高齢者医療事業特別会計】

高齢者が増えていくほど高齢者の保険料負担が増える仕組みである制度そのものの廃止を求める。

【水道事業剰余金処分及び水道事業会計】

水道事業は自治体の最低限のインフラ事業であることから、税金を投入し水道料金の値上げを抑えるべきである。

民間譲渡した甌島館に補助金を交付

**クローズアップ**  
甌島地域宿泊施設整備支援事業など  
3補正予算を可決

平成29年度の補正予算は、第2回から第4回までの3補正で10億1千246万2千円を追加し、補正後の予算総額は、55億3千169万4千円となりました。

第4回補正予算

甌島地域の観光振興の展開に重要である宿泊施設の利便性向上及び老朽化対策等の支援に係る所要の予算を計上

〔関連／委員会報告13ページ〕

事業概要

◆甌島地域宿泊施設整備支援事業

1億円

甌島地域の観光振興の展開に重要である宿泊施設について、施設の利便性の向上及び老朽化対策等の施設整備を行う費用の一部を補助し、甌島地域の宿泊施設の充実を図るもの。民間譲渡した甌島館が今回、補助対象となっている。

3補正予算を可決

【補助金の額】

事業費の3分の2以内とし、対象施設の規模に応じて最高限度額は次のとおりである。

- ①部屋数10部屋以上から20部屋未満 5千万円
- ②部屋数20部屋以上 1億円

③部屋数20部屋以上 1億円

第4回補正予算については、反対・賛成の討論があり、原案のとおり可決しました。

〔関連／投票の結果16ページ〕

反対討論

井上 勝博 議員  
①特定の企業に対する特別の大規模補助金であり行政の公正性・中立性を損なうものである。②自治体が大型開発を手掛けることにより財政が破綻する。

賛成討論

川添 公貴 議員  
①本市は観光振興の中心に甌島を位置づけている。その甌島観光の受け皿や、宿泊拠点施設及

び地元就業の場所の確保のためにもあらゆる観点から促進すべきである。②自治体が直営で施設を持つことはあつてはならず、民間に任せらるべきである。

第2回補正予算

【補正予算の概要】

①国県補助事業における補助内示及び制度改正等に伴う増減調整

②後年度の事業展開を見据え、本年度中に対応すべき事業に係る予算を計上

③純繰越金確定に伴う法定積立に係る財政調整基金への積立予算を計上

主な事業等

◆甌島輸送支援事業（特定有人国境離島地域社会維持推進補助金・離島活性化交付金）  
2千160万円

補助金及び交付金を活用し、甌島の農水産物や戦略産品及びその原材料等の甌島・本土間の海上輸送費補助を増額するもの。

◆川内駅東口アクセス道路整備事業  
4千万円

川内駅東口への交通アクセス強化及び中心市街地における交通渋滞緩和並びに交通の分散化

を図るための路線の調査・検討を行うもの。

◆有害鳥獣駆除対策事業

2千222万8千円  
捕獲頭数実績見込み及び県補助金(緊急捕獲)配分決定により増額するもの。

◆明治維新150周年誘客整備事業

1千600万円  
NHK大河ドラマ「西郷どん」及び明治維新150周年を契機に、川内高城温泉に設置されている西郷隆盛のモニュメント像の更新及び川内高城温泉に誘導する看板を設置するもの。



更新される西郷隆盛モニュメント像

◆道路維持補修事業

1億1千万円  
車両及び歩行者の安全確保並びに生活環境の向上を図るため、市内全域の市道における側溝・舗装等の維持修繕に係る経費を増額するもの。

◆交通安全施設単独事業

2千万円  
市道の通行車両及び歩行者の安全確保を図るため、通行車両の多い市道や通学路周辺の市道について優先的に交通安全施設(区画線等)の修繕を行う経費を増額するもの。

◆小学校扶助費

1千378万6千円  
経済的理由等により就学困難な児童生徒に対する学用品・学校給食費等の就学に必要な経費の補助に係る経費を増額するもの。

◆中学校扶助費

420万7千円  
経済的理由等により就学困難な児童生徒に対する学用品・学校給食費等の就学に必要な経費の補助に係る経費を増額するもの。

◆土地売却収入「歳入」

1億3千580万7千円  
西開聞町の旧水産物地方卸売市場跡地売却による土地売却収入。



現在の旧水産物地方卸売市場跡地

なお、第2回補正予算には反対討論がありました。賛成討論はなく、原案のとおり可決しました。

反対討論 井上 勝博 議員

川内駅東口に建設するコンベンション施設関連の事業など、大型公共事業の無駄遣いである。

第3回補正予算

【補正予算の概要】

- ①10月22日の衆議院議員総選挙等執行に係る所要の予算を計上
- ②台風18号等の災害に伴う復旧に係る所要の予算を計上
- ③豪雨災害復旧等に充用した予備費の復元予算を計上

主な事業

◆9月17日の台風18号等の災害復旧に係る経費 3千248万円  
市道の倒木・崩土除去等を行うもの。

条例など

子ども発達支援センター つくし園を民間譲渡へ

「薩摩川内市子ども発達支援センター条例を廃止する条例の制定について」は、反対討論がありました。賛成討論はなく、原案のとおり可決しました。

心身障害児の療育訓練を行い、その発達を支援している薩摩川内市子ども発達支援センター(つくし園)について、当該施設を普通財産に変更し、効率的かつ効果的な財産活用を図るため、廃止しようとするものです。

反対討論

井上 勝博 議員  
市直営や指定管理者制度では効率的な財産活用が図れないのが不明。施設を市の管轄から

手放すことは住民福祉の向上という責任を投げ出すものである。

東郷学園義務教育学校の工事請負契約を締結

「東郷学園義務教育学校管理中学校棟新築(建築)工事請負契約の締結について(契約金額5億9千54万4千円)」及び「東郷学園義務教育学校小学校棟新築(建築)工事請負契約の締結について(契約金額4億6千440万円)」は、原案のとおり可決しました。

平成31年4月に開校する東郷学園義務教育学校の管理中学校棟及び小学校棟の新築(建築)工事について、工事請負契約を締結しようとするものです。

旧黒木温泉公衆浴場を無償貸付へ

「財産の無償貸付について」は、原案のとおり可決しました。  
旧黒木温泉公衆浴場を黒木地区コミュニティ協議会へ無償貸付するものです。

# 総括質疑並びに一般質問

9月1日、4日、5日の3日間、総括質疑並びに一般質問を行いました。今定例会で行いました2会派による代表質問と14人の議員による個人質問の中から、その主なものを紹介します。

## 代表質問

2会派

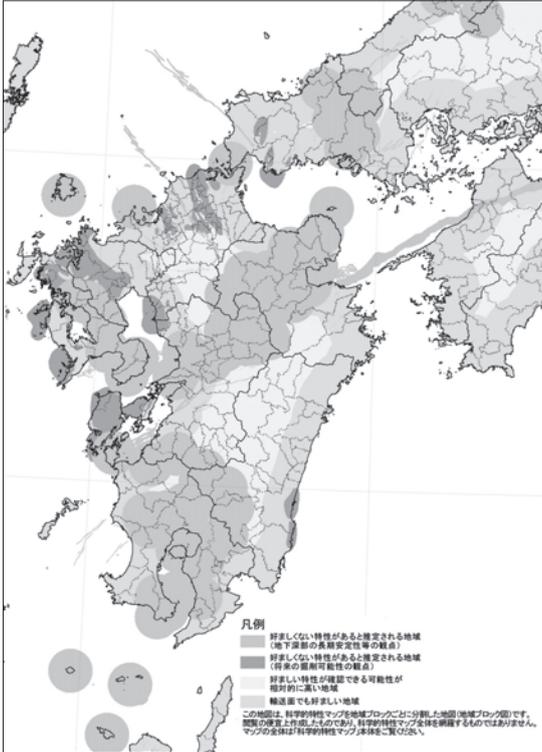
新創会

上野 一誠 議員



### 質問通告内容(要約)

- ①高レベル放射性廃棄物最終処分場の科学的特性マップ公表について
- ②スポーツのまち薩摩川内市の現状と振興策・人材育成について
- ③定員適正化方針と職員採用及び組織改革について
- ④人口減少による地域組織力の現状と課題・展望について



科学的特性マップ(九州地方を抜粋)

高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する科学的特性マップについて

問 本年7月、地層処分の適地を示した科学的特性マップが公表された。国土の約7割弱が該当する。

答 当し、本市も適地の領域に入っている。今後、国において説明会等が実施されていくと思うが、地層処分に対する見解及び国の動向に市長はどのように対応していくのか。

問 マップの提示や意義については、国が国民の理解を深めるための取組であり、処分場実現

に向けた長い道のりの最初の一步であると認識している。国策である原子力政策に協力してきた本市としては、他の地域に処分場を選定してもらいたい。なお、国から市民に対して説明の要請があれば市民に情報提供を行うとともに、仮に国から何らかの対応を求められた時は議会の意見を聞いた上で判断したい。

今後の職員採用と支所体制について

問 平成32年の職員数を1000人とする目標に対して、現在1031人である。各支所職員も合併時約100人いたが現在20人弱である。支所職員の削減により行政サービスが低下してはならないが、今後の職員採用と支所体制について見解を伺う。

答 第3次薩摩川内市定員適正化方針に基づき平成32年4月までに定数1000人以内と定めているが、再任用制度や職員の年齢構成等の検討を行いながら職員採用を考える時期にきていると判断している。本土4支所においては、市民サービスの低下とならないことを念頭に全ての業務見直しを行っており、可能な限り支所業務を本庁に集約

し、より専門性の高い市民サービスを提供できる体制を目指して検討を進めている段階である。

人口減少による地域組織力の現状と課題について

問 人口減少や高齢化により、自治会や地区コミ協においては運営等に苦慮されている状況にある。地域においては、自治会や地区コミ協の再編は深刻な課題といえるが、各地域の現状と課題をどのように把握し対応していくのか。

答 自治会や地区コミ協では、少子高齢化による運営難や役員の担い手不足等が課題となっていると認識している。自治会等の再編については、本年7月の地区コミ会長連絡会において、高齢化に伴う自治会組織の見直しや自立のための地区コミ協制度の在り方等について意見交換が行われており、今後、行政主導ではなく、自治会・地区コミ協の自主性・主体性を尊重しながら、地域の実情や特性に合った再編を推進していきたい。

中島 由美子 議員



質問通告内容(要約)

- ①夏休み、子どもたちが安心して過ごせる居場所や学習環境は整っているか。
- ②高齢者が安心して暮らせるまちづくりのために
- ③道路愛護月間の取組について
- ④本土に定期的に通院、検査等に来なければならぬ方への宿泊支援はできないか。

エンディングノートの講習、取組はできないか

問 高齢者世帯が多く、認知症の方も増えていく中、先々のことを自分なりに決めておくことは大事である。そこで、本市としてエンディングノートの講習などの取組はできないか。

答 市民大学講座において、専門のコーディネーターの指導の

もと成年後見人制度や遺言等を記入するエンディングノートの書き方を学習しており、本年度も計画しているところである。

業務委託されている道路清掃作業の熱中症対応は

問 真夏の暑い中、道路の草刈り業務等をされている業者の方々に対し、熱中症対策にかけられる経費をもう少し増やすことはできないか。

答 道路伐採業務は、一般工事で実施する出来形管理や品質管理等を求めていることから、経費の部分も少ないのが現状である。なお、これまでも道路伐採業務に限らず徹底した熱中症対策の指導を行っており、適切な休息と水分補給等が一番だと考えている。



業務委託による道路伐採作業

個人質問

議員14人

坂口 健太 議員



ふるさと納税について

問 ①本年4月に行われたふるさと納税に係る総務大臣通知に基づき、今後、ふるさと納税の使用目的の公表をどのように行うのか。②返礼品の在り方や事業自体の経費はどのようになっているか。

答 ①ふるさと納税の使用目的は、市総合戦略の四つの分野(雇用・移住・子育て支援・地域づくり)と定めており、市ホームページや募集チラシ等で周知し、寄附者は寄附の際、いずれかの分野を指定することとなっている。②返礼品のうち総務省から指摘を受けた最高額7万円の品物を6万円に引き下げ、複数商品の組合せにより返礼割合を3割以下となるように対応している。平成28年度で約2億8千万円の寄附額に対し、経費等を差し引くと約8千450万円となる。

買物不便地域支援モデル事業について

問 ①事業開始5年が経過しようとしているが、事業の現状と課題について問う。②川内地域のみではなく、ゴールド集落など買物不便地域の多い旧4町へ事業者実施エリアを拡大できないか。

答 ①川内地域の主にゴールド集落を対象に、平成25年から平成30年までのモデル事業として実施。75カ所を週1回巡回し、平成28年度は延べ約1万人の利用があったが、利用者が減少していることから、事業実施者の採算性の確保が課題になると認識している。②現在、民間事業者が移動販売を行っている地域もあることから、今後は民間主導による事業を検討するとともに、地元商店との共存も配慮しつつ対応していきたい。



石野田 浩 議員



一次産業の振興について

問 ①六次産業化を含む一次産業の振興に関わる新しい構想があるか。②従事者の高齢化が進み耕作放棄地も拡大する中で、何か新しい施策を考えなければならぬがどのように考えるか。

答 ①一次産業が大変疲弊していく中で六次産業化を進めるべきだとの思いで今日に至っている。今後は、六次産業を集团的に取り組んでもらう体制づくりを進め、併せて後継者育成や広域的な鳥獣被害対策を行いつつ、一次産業従事者の所得向上につなげていきたい。②耕作放棄地対策として、中山間地域直接支払制度や多面的機能支払制度等を活用した道路や水路の補修や地域集落協定による草刈等の農地保全に取り組んでもらっている。今後は、集落単位で耕作放棄地の発生防止に取り組むことを促す独自の制度を検討していきたい。

## 川内港の振興について

**問** 市の発展には川内港の振興発展が不可欠であり、航路開設、農産物などの集積や川内港に関わる交通体系の整備が必要と思われるが①中国上海や香港など東南アジアへの航路開設の考えは。②川内港へのアクセス道路の整備は。

**答** ①現在、韓国や台湾との航路を開設しており、新たな航路誘致については今の航路の実績を上げてからと考えている。②これまで京泊草道線、京泊大小路線、広域農道の整備を進めてきたが、唐浜埠頭の整備が進み物流等が増えることが予想されることから、今後、南九州西回り自動車道の湯田西方ICの整備に合わせ、アクセス道路の整備を図っていきたい。



## 支所見直しについて

**問** 現在検討中である支所見直しについては、再任用職員などを活用し少数精鋭で市民サービ

スの充実を図るべきと思うが、支所の将来像など、どのような方向性をもって検討されるのか。

**答** 市民サービスを低下させずに効率的な事務を行うことが一番望ましい。業務を洗い出し詳細に分析した上で事務の内容、職員の定数を決めていきたい。

## 小・中学校全国学力・学習状況調査を受けて

**問** ①本市の状況は。②各種調査結果を受け、どのような対策を取るか。③市全体の学力向上に支援員等を加配するべきでは。④教師の勤務負担軽減策として、部活動などに市体協の協力を仰ぐことはできないか。

**答** ①小・中学校ともに平均をやや下回る結果がでている。特に、小学校の算数、中学校の国語と数学において、思考力・判断力・表現力を活用する力がやや劣っている。学習状況調査では、小・中学校ともに「学校に行くのが楽しい」との回答が多いが、自分の考えや意見を発表したり、文章に表すことが苦手といった結果も出ている。②授業改善に取り組むとともに、小中一貫教育により9年間を見通

したカリキュラムづくりや家庭での学習時間の確保を呼びかけていきたい。③現在、英語や特別支援教育等において支援員を配置しているが、今後、増員について検討したい。④外部指導員の活用は、部活動を充実させるために重要なことであり、地域とともにある学校づくりの展開を図る上で市体協からの指導員の派遣についても検討していきたい。



## 川内港(港湾区域)の施設整備について

**問** 港町地区の避難港の整備や漁協前の岸壁における浮き桟橋の今後の整備について問う。

**答** 避難港と浮き桟橋については、県に対してこれまで整備を要望してきているが、県からは避難港の整備は困難であるとのこと、また、浮き桟橋については、利用状況を踏まえ、その必要性を検討していきたいとのことであった。しかし、台風等の影響や過密停泊により漁船の転

覆・接触事故が発生するなど支障を来していることから、避難時の安全性を高めるため避難港の整備を浮き桟橋の整備とともに引き続き要望していきたい。



要望している漁協前の岸壁

## 国の「働き方改革」における学校現場での過重労働について

**問** ①本市教員の勤務実態をどのように把握しているか。②情報通信技術(ICT)や外部人材の活用状況を示せ。③今後の学校現場における「働き方改革」について抜本的な改革が必要と考えるが、教育長の見解を問う。

**答** ①現在、職員の勤務状況を的確に把握するため、出勤時刻と退勤時刻を記録する出退時刻記録を実施している。②全ての教職員に校務用パソコンを1台

ずつ配置。その他に実物投影機やタブレットパソコンを整備して、教職員の校務負担の軽減に努めている。外部人材については、特別支援教育支援員39人、英語のゲストティーチャー12人のほか、心の教室相談員等12人を活用、部活動においても9中学校において17人の外部指導者の協力をいただいている。③学校業務改善推進委員会を立ち上げて、3学期制から2学期制への見直しや校時表の変更など、抜本的な改革ができないか研究しているところである。



## 川内駅東口市有地活用事業について

**問** コンベンション施設整備・運営事業に一者の応募があったとのことであるが、審査において不採用となった場合には修正再提案を受けるのか。また、コンベンション施設単独の建設となった場合にはどのようなスケジュールとなるのか。

**答** 事業者の選定における公平

性の観点から、提案事業者の修正再提案は、適切な手続ではないことから受ける考えはない。平成32年7月の供用開始を目標としているが、仮に再公募となった場合には、事業スケジュールに影響が出ないよう事業者選定手続の簡略化や施設整備期間の短縮などの方法を検討し、早期完成を目指したい。

### 川内駅東口アクセス道路整備事業について

**問** ①川内駅東口アクセス道路整備事業として4千万円の補正予算が計上されたが、対象はどの路線で、どのような事業が行われるのか。②平成通線の延伸についての今後の計画はどのようなになるのか。

**答** ①横馬場田崎線のうち、隈之城高城線までの約600区間に調査設計を行う。②平成通線の延伸については、住宅が密集していることから、現段階では横馬場田崎線を拡幅して整備する方が良いとの結論を出した。新たな路線については、将来の交通量を踏まえて判断すべきであると考えている。

敬 和  
議 尾 瀬



### 基本戦略の進捗状況及びイクボス宣言の概要について

**問** ①岩切市長は3期目に当たり基本戦略を掲げられたが、約1年経過してその進捗状況はどうか。②女性の活躍や少子化対策の一環としてイクボス宣言をされたが、その概要について伺いたい。

※イクボス  
職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のこと。

**答** ①1・2期目で打ち出した新しい政策を3期目では実現しなければならぬ。コンベンション施設、総合防災センター、東郷地域小中一貫校などの大型事業に着手し、成長戦略として観光、次世代エネルギー、六次産業の振興に取り組んでいる。少子化対策を重点的に進め、また、鹿児島国体等を見据えて、それぞれ新しく組織を立ち上げ

るなど、基本戦略に掲げた事業は着実に展開できていると考える。②各機関の長及び市長以下三役や市の課長級以上が仕事と子育て、介護、地域活動等の両立の支援や子育てしやすいまちづくりの推進のため、それぞれの立場でイクボス宣言を行った。市が率先して取り組むことにより、全市的な機運を醸成し、少子化対策につなげていきたい。

### 小学校5・6年生の英語必修化について

**問** 本市では2018年度より5・6年生の英語の必修化が始まる。①2009年度から始めた英語活動の成果は。②週2コマによる担任の負担増に対して、指導を補完するALTやGT（ゲストティーチャー）は現状で大丈夫か。

**答** ①小中一貫教育の先導的な試行に合わせ、小学校低学年から英語活動の授業に取り組むとともに、英語検定料の無料化に取り組んできた。英語活動の授業を見ると、児童・生徒が積極的に英語でコミュニケーションを図っている姿が増えてきているように感じる。中学校卒業時の英検3級以上の取得率も、県

や全国の平均を超えており、児童・生徒の英語力は着実に高まっていると考えている。②担任のほか、英語指導に長けた中学校の教員、ALTやGTを効果的に活用して、授業を行っていききたい。そのためには、GTを増やす必要があり、地元の人材を活用し専門的な指導技術研修を受けてレベル向上がなされるよう対応していきたい。



ALTによる授業風景

もあり、教育現場では児童・生徒や教師が熱中症になるリスクが高まっているため、段階的にも、公立学校の普通教室等へ空調設備導入の検討が必要だと考えるが見解を伺う。

**答** 本市では、これまで年次的に空調機を図書室やパソコン室などに設置し、普通教室には扇風機を多数設置するなど暑さ対策を行っているが、本年7月と8月の各学校の教室の室温が平均30度を超える結果も出ていることから、今後は扇風機だけの対応は難しい状況であると考えている。また、PTA等からも空調機設置の要望があることから、国の補助制度など財源も含め空調機の設置について検討していきたい。

### 中郷地区の整備ビジョンについて

**問** ①地元の方々の方が更に暮らしやすい地域にしていきたいため、中郷住宅の今後の整備・開発のビジョンについて伺う。②中郷下池の周辺整備について、今年度から来年度にかけて整備の進展予定があるか伺う。

**答** ①公営住宅長寿命化計画に

### 薩摩川内市の公立学校での熱中症対策強化の取組について

力 松澤  
議 員



**問** 近年の地球温暖化の影響等

よると、中郷住宅は現地で建て替えを行う方針である。現時点では、戸数や建設時期などは未定であるが、これまで建設してきた住宅を参考に、年代層に幅のある住宅の建設を目指したい。

②民有地の地権者調査を進めている中、一部に複雑な相続関係が確認されたところもあるが、今後も追跡調査を継続していく。

なお、下池周辺の市道については、樹木の伐採や落ち葉の除去など、景観に配慮しながら管理に努めていきたい。

実議員  
兼  
宮里

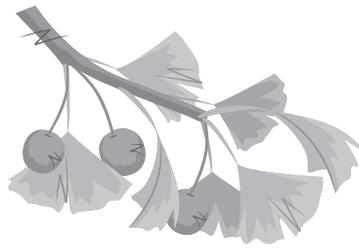


鳥獣被害対策について

問 昨年6月にも質問したが、これだけ鳥獣被害が増え続けてきていることに対し、この1年間、その対策に真剣に取り組んでいるか。また、農家の方が安心して作物を生産できるよう緊急捕獲対策が必要であると思うがどうか。

答 鳥獣被害防止施設導入事業による電柵の設置や有害鳥獣の個体数を減らす取組みとし

て、猟友会に有害鳥獣捕獲業務を委託している。前年度より捕獲頭数は増えた状況であり、一応の効果は出ていると考えている。平成27年度からは餌場を作り、餌付けしたシカを狙撃する誘引狙撃法やわな猟をモデル地区で実施しており、今後も関係機関と連携しながら有害鳥獣被害対策に努めていきたい。



井戸のボーリング経費に対する助成について

問 人口減少の発端となる住宅の新築が進まない一番の理由は、市の水道がないためであり、更に過疎化が進んでいるのではないか。新設管を布設するには財政的にも厳しいことから、井戸のボーリング経費等に対する助成はできないものか。

答 水道事業や簡易水道事業の給水区域外において、市民の生活用水の確保と生活環境の改善を図ることは重要な課題であることから、今後、他市の状況を調査し井戸のボーリング経費等に対する補助制度を前向きに検討していきたい。

一郎議員  
福田



ミサイルが日本上空に発射された。市長の市民保護の考えは。

問 北朝鮮から日本上空を軌道するミサイルが発射された。国民に対し外部からの武力攻撃等を現実の問題として考えるのは難しいと捉えているが、必要な備えをすべきと広報している。市民保護計画を踏まえて市長の考えを明らかにされたい。

答 国民保護計画で想定される事態について、避難実施要領パターンを作成しており、市広報紙6月号でもミサイルへの対処について市民へ周知しているところである。市民が早急かつ確実に避難行動が取れるように、国から発せられる警報等が直ち

に市民に伝わる体制の維持など国・県との連携を強化していきたい。

消防における予防査察の状況について

問 ①防火対象物の数は。②立入検査の件数と査察のサイクルは。③違反対象物に対する是正指導は。④全国的に消防業務が増加する中で、予防査察の実施回数と実施人員が減少している。本市の予防体制についての見解は。

答 ①総数4072件。そのうち特定防火対象物959件、非特定防火対象物3113件。②平成28年度の査察件数は防火対象物689件、危険物施設227件の計916件。査察のサイクルは用途や規模に応じて決まっているが、回数は年1回以上から4年に1回以上までであり、その他に署長が必要と認められる場合に実施する対象物がある。③立入検査結果通知書を交付し、是正指導を行っている。また、是正に費用がかかる場合は改修計画書の提出を求め、是正されなければ警告等を行っている。④予防要員の数は国の指針で基準が定められており、この

基準からすると、本市の予防要員は少ない状況であるが、立入検査の実施率は百パーセントである。今後も消防行政の根幹である予防行政を更に充実させていきたい。

※特定防火対象物  
旅館、百貨店、病院、幼稚園や  
社会福祉施設など不特定多数の者が  
利用する施設。

博議員  
井上



核兵器禁止条約について

問 7月7日、ニューヨークの国連本部で核兵器禁止条約が国連加盟国の3分の2の賛成で可決した。①市長は、被爆者の思いに寄り添うことができないか。②政府に対して核兵器禁止条約への参加を求められないか。

答 ①核兵器の廃絶と恒久平和は、国民の共通の思いであり、その重要性は十分認識している。今後も平成26年に加盟した平和首長会議の中で、加盟団体とともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指していきたい。②平和首長会議において、核兵

器禁止条約の早期発効を求める特別決議を行っている。条約への参加については、その実効性、外交政策等を考慮し、政府において決定されるものと認識している。

### 国民健康保険制度の県単位化について

**問** ①県単位化によって国保税の引上げがされるかもしれない。ただでさえ高い国保税は引き下げるべきだと考えるが、市長の見解は。②県単位化によって税の徴収が厳しくならないか。

**答** ①本市の平成29年度の一人当たりの国保税は10万3245円で県内19市ではほぼ中位である。平成30年度の試算については、激変緩和措置や一般会計から国保会計への法定外繰出相当分の公費追加の実施等により賦課額が決定されることから現段階では申し上げることはできない。②県単位化においても、賦課徴収は市町村の事務とされている。制度改正によって、法に基づく滞納処分も変わることはなく、これまでと同様に、納税の公平性・公正性を保つため適正に処理していきたい。

朗 道 議員  
杉 園



### 本市における外来生物、危険生物対策について

**問** ①各地の港で確認されている毒蟻ヒアリについて、川内港での対策は。②本市に生息する外来生物の把握と危険生物への対策について伺う。

**答** ①川内港では、国において舗装のすき間をアスファルト系の注入剤で埋める工事や捕獲用のわな(100個)の設置を行っている。②県の公表している外来種リストで、分布地が本市または川内川水系となっているものが33種あり、そのうち生態系へ影響を及ぼすことが懸念される特定外来種については、ブラスチックバスやブルーギルなどを確認している。危険生物による被害の発生や発生する危険がある場合は、情報が入った段階で注意喚起を行っており、今後本市の広報紙やホームページなどで、周知を図っていきたい。

### かごしま自転車条例施行に伴う市の取組について

**問** 県民のための自転車の安全で適正な利用に関する県条例が施行されているが、市民に対する周知、啓発の状況や教育現場での交通安全教室の取組について伺う。

**答** 交通安全協会等と連携して県作成のリーフレットの配布による広報を行っており、今後も市の広報紙やホームページ等を活用した広報活動を行っていききたい。全小・中学校では毎年交通安全教室を実施している。特に交通ルールや自転車安全利用5則の遵守を徹底して指導しており、自転車点検や乗り方の実技指導など実効性のある訓練にも取り組んでいる。



小学校での交通安全教室

喜 政 議員  
下 園



### 消防行政の強化について

**問** ①地域防災力の充実強化に関する法律が施行されているが、定数に満たない消防団員の確保をどのように考えているか。②南部分署に救急隊が創設されたが、その効果と今後の消防体制の強化策をどのように考えているか。

**答** ①消防局、消防団が一体となって消防団への加入促進や消防団員の処遇改善等の検討を重ね、本年4月から費用弁償の改正、防火衣等の計画的な配備を行っている。今後も消防団に対する理解を深めるため、様々な活動を市民に紹介し、消防団への加入について取り組んでいきたい。②川南地区では、年間約1500件の救急要請があるが、南部分署に救急隊が創設されたことにより、管轄エリアの約3万8千人の救命率向上に大いに貢献できると考えている。今後の高齢化の進展に伴う救急件数の増加等を注視しながら消防体制の更なる強化を図る必要がある。

ることから、限られた消防の資源を最大限に有効活用するためにも、中長期的な視点で消防体制の在り方について検討していきたい。



消防団による操法大会

### ゴールド集落の河川及び道路愛護作業の現状について

**問** ①ゴールド集落が、今年度は140自治会あると聞いているが、河川及び道路愛護作業が厳しい地域の現状をどのようにみているか。②愛護作業を業者委託や市の維持作業班でできないか。

**答** ①ゴールド集落における道路愛護作業の参加者は、平成22年度と平成28年度を比較すると

1500人ほど減少してきており、地域からの道路や河川の伐採要望等が増加している状況である。高齢化と人口減少による労働力の低下は十分認識している。②愛護の精神でできる限り、作業を続けていただきたいが、不可能なところについては、業者委託等に対応していきたい。



光 久 議員  
落口

**市営駐車場条例の一部改正について**

**問** 今回の条例改正において、川内駅西口周辺にある市営駐車場の管理の見直し内容について①具体的にどのような効果をもたらしているか。②駐車料金等が変更になる可能性もあり利用者が不利益になるような問題はないか。

**答** ①指定管理者制度で管理を委託している市営駐車場を委託料制から利用料金制に改めるもので、指定管理者は駐車場運営により発生する利益を市へ納めることになる。今後は指定管理者の裁量で、駐車場の運営や

様々なサービスなどが可能となることから、駐車場運営に対する指定管理者の意欲向上につながり、利用者の増加に伴う収益の増が期待される。②日貸し、時間貸し、月決めなどの駐車料金については、新たな指定管理者の裁量になってくるが、一番は民営圧迫とならないようにと考えている。

**本市の観光政策について(蘭牟田池の活用について)**

**問** ラムサール条約に登録されている蘭牟田池であるが①これまでの観光に関する取組は。②過去に比べ大幅に減少した来訪者数を改善するために、ラムサール条約登録地であることを前面に出した観光施策を行う考えはないか。

**答** ①平成17年にラムサール条約に登録されたから、蘭牟田池の環境を紹介するためのビオトープの設置や各種イベントの開催などを地域の方々が主体となっており、これら活動に補助金交付などの支援を行っている。②環境学習として、市体験型旅プログラム「きゃんぱく」での商品開発、県外の修学旅行生を受け入れてのグ

リーントゥリズムの実施、外輪山を利用したトレイルランニングの開催などを新たに実施している。今後、希少価値の高い本市の重要な資源を、地域の方々と連携を図りながら効果的な利活用など検討していきたい。



ベッコウトンボ頭数調査会(蘭牟田池)

芳 橋 議員  
橋口



**川内原発の温排水について**

**問** 寄田町の漁師の方が温排水により海藻等に影響があると話しておられた。生態系にも、また、今後、子どもや孫等にも影響を及ぼすおそれがあることから、市独自に環境影響調査をすべきではないか。

**答** 鹿児島県が川内原子力発電所に関する安全協定に基づき、水温、塩分、流況、主要魚類及び漁業実態の項目について温排水影響調査を行っている。これまで温排水の拡散範囲は放水口周辺に限られており、過去の調査結果においても変動の範囲内で異常は認められていないことから市独自の温排水調査は考えていない。

**甌島航路に付随する陸上交通について**

**問** 無駄に税金を使い、役に立たないシャトルバス(電気バス)は廃止し、甌島の住民等の利便性を重視したバス運行を考えるべきではないか。

**答** 電気バスについては、運行頻度を落として運行しているが、甌島観光の目玉ということもあり、効果はあると思う。甌島航路と陸上移送については、甌島住民をはじめとする利用者の声を大切にしながら、財政的な負担のバランスをみて運行を行っている。船の発着時間に合わせた余裕のあるダイヤの見直しや利便性を高めるためのバス停の新設など改善を進めている。

**おわびと訂正**

薩摩川内市議会たより9月1日発行No.52号の8ページに掲載した持原秀行議員の個人質問の記事中に誤りがありましたので、おわびして訂正します。

訂正前	訂正後
<p><b>川内駅東口市有地利活用事業推進に係るインフラ整備について</b></p> <p><b>問</b> 事業予定地近辺は良好な住宅地である。さらには、平佐西小学校のスクールゾーン内に住宅が建設されること等を考慮すると、この事業に先立ち周辺道路等のインフラ整備を図るべきであると考えられるが、見解を伺う。</p>	<p><b>川内駅東口市有地利活用事業推進に係るインフラ整備について</b></p> <p><b>問</b> 事業予定地近辺は良好な住宅地である。さらには、平佐西小学校のスクールゾーン内にコンベンション施設が建設されること等を考慮すると、この事業に先立ち周辺道路等のインフラ整備を図るべきであると考えられるが、見解を伺う。</p>

# 委員会 報告

# 私たちが慎重に チェック!

## 常任委員会

各常任委員会において、付託された議案等の審査を行い、次のような意見・要望がありました。

なお、甕島地域宿泊施設整備支援事業1億円の補正予算(議案第132号)については、企画経済委員会が付帯決議が付されました。審査の経過とともに掲載します。

### 総務文教委員会

委員長 帯田 裕達

9月8日開催

#### 所管事務の調査結果

①防災研修センターでは、火災予防や自然災害に関する研修等が行われているが、いつ発生するか予測できない災害に対応するためには、市民の防災への意識が高まるような取組が必要であることから、更なる研修内容等の充実に努められたい。

②少年自然の家の利用者は、近年増加傾向にあるが、4月から7月までの時期に集中していることから、その他の時期についても、利用者の増加につながるような方策を検討されたい。

9月22日・25日開催

議案第117号 決算の認定に

ついて(平成28年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算)のうち本委員会付託分

①防災研修センターの来館者数は、年々減少してきていることから、市民の関心を引きつけるような企画を検討・実施し、来館者数の増加につながるよう取り組まれたい。

②消防職員の人材育成については、高齢化社会を迎え、消防業務が高度化する中、各種研修等を通じて、更に資質が向上するよう努められたい。

③奨学資金貸付金制度の未返還金徴収に当たっては、連帯保証人への請求も含め、更なる徴収強化に努められたい。

④職員の人材育成に当たっては、引き続き、国・県等へ職員を派遣するとともに、人材育成基本方針に基づいた研修を実施し、職員の資質向上に努められたい。

⑤市税等の滞納整理に当たっては、適切な不納欠損処理を行う

とともに、早期に納税催告を行うなど、収納率の向上に努められたい。

⑥節間流用による予算執行については、必要に応じて認められた措置ではあるが、可能な限り透明性が確保されるよう努められたい。

### 企画経済委員会

委員長 下園 政喜

9月7日開催

#### 所管事務の調査結果

女性が働きやすい環境づくりのためには、経営者側の意識が変わる必要があることから、今回、設立された薩摩川内市女性活躍推進協議会においても、十分議論が行われるよう取り組まれたい。

9月22日・25日開催

議案第117号 決算の認定について(平成28年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算)のうち本委員会付託分

①婚活支援事業補助金については、男女の出会いの機会を増やすために補助金の額等を見直すとともに、婚活イベントを開催

する団体を幅広く募集されたい。

②竜仙館及び鷹の巣冷泉については、行政財産から普通財産へ変更となり、民間への譲渡が計画されているが、譲渡後における施設の維持管理は譲渡先が責任を持って行うよう強く働き掛けられたい。

### 市民福祉委員会

委員長 福田 俊一郎

9月8日・26日開催

両日とも意見・要望はありませんでした。

### 建設水道委員会

委員長 福元 光一

9月7日開催

#### 所管事務の調査結果

公園の多目的トイレについては、障害者等が利用しやすい施設となるよう定期的に点検を行うなど、指定管理者と連携して更に適切な管理に努められたい。

9月26日開催

(1)議案第117号 決算の認定

について(平成28年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算)のうち本委員会付託分

住宅使用料や住宅資金貸付金の収納対策については、職員・嘱託員による個別訪問だけではなく、法的手段を含めた効率的な方法を研究されたい。

(2)議案第120号 決算の認定について(平成28年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算)

公共下水道施設については、有効活用等を行っていくため、更に接続率を向上させる方策を検討するとともに、下水道施設使用料の収納対策については、庁内関係課と連携して取り組まされたい。



議案第132号 平成29年度薩摩川内市一般会計補正予算に対して付帯決議

— 企画経済委員会 —

9月25日・28日・10月12日(現地調査)・16日

### 審査の経過

▼9月25日・28日

甕島地域宿泊施設整備支援事業を提案することになった経緯、同支援事業を甕島地域に限定した理由、平成27年5月に本市が今回の補助対象施設となっている甕島館を(株)アイ・ビー・キャピタルに譲渡した際の契約内容と譲渡後における同社と地域との連携、また、課題となっている甕島館の従業員の雇用見通し等について質疑を行いました。

▼10月12日(現地調査)

甕島館の外壁のひび割れや雨漏り箇所等を調査するとともに、里地区及び上甕地区の両コミュニティ協議会、薩摩川内市商工会里支部及び上甕支部、鹿児島県建設業協会甕島支部並びに甕島漁業協同組合と意見交換を行いました。意見交換の中では、甕島館の存続を求める意見が多

数ありましたが、一方で、(株)アイ・ビー・キャピタルと地元業者との取引や同社の企業努力に対する不満の意見もありました。



各種団体との意見交換

▼10月16日

意見交換の結果を踏まえ、(株)アイ・ビー・キャピタルと地元事業者との取引状況や、契約上、甕島館を宿泊等に供する期間が10年間と定められていることから、将来の甕島館の在り方等について質疑を行いました。

### 付帯決議

①甕島館は、甕島観光の宿泊の拠点であり、地域住民も存続を切実に願っていることを踏ま

え、甕島館の譲渡先である(株)アイ・ビー・キャピタルにおいては、本市と締結した公有財産譲与契約及び土地使用借契約を確実に履行して甕島館の経営を継続すること、また、地域とのコミュニケーションを十分図るとともに企業努力を行いながら従業員の確保と地元事業者との取引を拡大することを強く要請されたい。なお、当局においては、甕島館の運営状況については、定期的に報告するとともに、甕島地域全体の雇用対策について、地区コミュニティ協議会や各種団体等と連携を図りながら取り組まされたい。

②(株)アイ・ビー・キャピタルに対し、甕島館の譲渡時の改修に伴って、約7800万円の補助金を交付していること、また、平成26年9月定例会において、甕島館を廃止する条例等を企画経済委員会で審査した際、「譲渡後の修繕費等の負担の明確化、継続雇用対策など、想定されるリスクを慎重に考慮して対処されたい」との付帯決議を付していることも念頭に置きながら、今後は、厳正に対処されたい。

③甕島地域においては、今回、補助対象外となる宿泊施設の整備改善も可能となる補助制度の拡充を検討されたい。



甕島館の温泉施設の調査

— 総務文教委員会 —

9月25日・28日、10月16日

### 審査の経過

今後、甕島地域宿泊施設整備支援事業において、甕島館以外の宿泊施設へ支援を行うことになった場合や、甕島地域以外の宿泊施設事業者から支援の要請があった場合の財源の考え方等に関する質疑を行いました。

なお、宿泊施設事業者に対する補助の在り方については、財源対策等について十分検討し、特に、財源を一般財源とする場合においては、慎重に対処されたい旨の意見が述べられました。

# 特別委員会

特別委員会において、調査を行いました。概要は次のとおりです。

## 川内原子力発電所

### 対策調査特別委員会

委員長 成川 幸太郎

8月8日開催

## (1)川内原子力発電所の運転状況について

当局から、1号機及び2号機はそれぞれ通常運転中であり、気体・液体廃棄物の放出量は年間放出管理目標値を下回っていること、固体廃棄物の貯蔵率は67%であること、使用済燃料の貯蔵率は63・2%であること、新燃料は24体を貯蔵していること、法に基づき国へ報告を要する事象等は該当がないことの報告を受けました。

なお、7月11日に発生した鹿児島湾を震源地とする地震では、地震直後、運転状態に異常がないことを確認するとともに、その後、設備全般の総点検・パトロールや制御棒など安全上重要な設備の作動試験を実施し、異常がないことを確認している

## インターネットによる本会議映像の配信

本会議映像(ライブ映像・録画映像)は、市ホームページからインターネットを通じて配信しており、平成29年6月定例会からは、スマートフォンやタブレット端末からも視聴できるようになりましたのでご覧ください。

なお、本会議当日のライブ映像は、支所及び地区コミュニティセンター等でも視聴できます。

### <アクセス方法>

- ・右のQRコード
- ・薩摩川内市のトップページ

⇒ **市議会** をクリック

⇒ **議会中継(平成29年6月定例会以降の映像：スマートフォン・タブレット端末でも視聴可)** をクリック



の説明がありました。

## (2)安定ヨウ素剤の配布について

当局から、6月16日及び18日に配布会を開催し、これまでの安定ヨウ素剤の配布状況について

て、通知対象者4331人に対し受付者は3156人、そのうち配布者は2839人、配布率は65・6% (禁忌者や辞退者を除いた実配布率は70・6%)であるとの報告を受けました。

なお、調査の過程において、受取辞退者(292人)の理由について質疑があり、住所をPAZ内に残して施設に入所された方などが含まれている旨の答弁がありました。

## 陳情の処理状況

陳情番号	件名	提出者	付託先	結果
陳情第4号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書の提出についての陳情書	全日本年金者組合 薩摩川内年金者の会	市民福祉委員会	採択 (全会一致)
陳情第5号	川内原発の冷却材喪失時の現在の過酷事故対策を水蒸気爆発の起こらない方法に転換することを要請する陳情	川内原発建設反対 連絡協議会	川内原子力発電所 対策調査特別委員会	閉会中審査

## 意見書

次の意見書を可決し、関係行政庁等に提出しました。

件名	提出先
若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

# 議 決 結 果 一 覧 表

議案番号	件名	付託先	議決結果
議案第99号	東郷学園義務教育学校管理中学校棟新築(建築)工事請負契約の締結について	総務文教委員会	原案可決 (全会一致)
議案第100号	東郷学園義務教育学校小学校棟新築(建築)工事請負契約の締結について	総務文教委員会	原案可決 (全会一致)
議案第101号	財産の取得について(水槽付消防ポンプ自動車 1台)	総務文教委員会	原案可決 (全会一致)
議案第102号	財産の取得について(小型動力ポンプ普通積載車 4台)	総務文教委員会	原案可決 (全会一致)
議案第103号	薩摩川内市集会所条例の一部を改正する条例の制定について	企画経済委員会	原案可決 (全会一致)
議案第104号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	企画経済委員会	原案可決 (全会一致)
議案第105号	財産の取得について(独立電源型ソーラーLED灯 49基)	企画経済委員会	原案可決 (全会一致)
議案第106号	薩摩川内市子ども発達支援センター条例を廃止する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決 (賛成多数)
議案第107号	薩摩川内市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第108号	薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第109号	平成29年度薩摩川内市一般会計補正予算(第2回) (補正額 805,138千円)	総務文教委員会 企画経済委員会 市民福祉委員会 建設水道委員会	原案可決 (賛成多数)
議案第110号	平成29年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計補正予算 (補正額 △5,387千円)	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第111号	平成29年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計補正予算 (補正額 1,536千円)	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第112号	平成29年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算 (補正額 △64,319千円)	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第113号	平成29年度薩摩川内市天辰第二地区土地区画整理事業特別会計補正予算 (補正額 13,128千円)	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第114号	平成29年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計補正予算 (補正額 △94,990千円)	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)
議案第115号	平成29年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算 (補正額 7,076千円)	市民福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第116号	平成29年度薩摩川内市介護保険事業特別会計補正予算 (補正額 △6,632千円)	市民福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第117号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算)	総務文教委員会 企画経済委員会 市民福祉委員会 建設水道委員会	認 定 (賛成多数)
議案第118号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算)	建設水道委員会	認 定 (全会一致)
議案第119号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計歳入歳出決算)	建設水道委員会	認 定 (全会一致)

議案番号	件名	付託先	議決結果
議案第120号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算)	建設水道委員会	認定 (全会一致)
議案第121号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算)	建設水道委員会	認定 (全会一致)
議案第122号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算)	建設水道委員会	認定 (全会一致)
議案第123号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算)	建設水道委員会	認定 (全会一致)
議案第124号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算)	建設水道委員会	認定 (全会一致)
議案第125号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市天辰第二地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算)	建設水道委員会	認定 (全会一致)
議案第126号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算)	建設水道委員会	認定 (全会一致)
議案第127号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算)	市民福祉委員会	認定 (賛成多数)
議案第128号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算)	市民福祉委員会	認定 (全会一致)
議案第129号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市介護保険事業特別会計歳入歳出決算)	市民福祉委員会	認定 (賛成多数)
議案第130号	決算の認定について(平成28年度薩摩川内市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算)	市民福祉委員会	認定 (賛成多数)
議案第131号	剰余金処分及び決算の認定について(平成28年度薩摩川内市水道事業剰余金処分及び平成28年度薩摩川内市水道事業会計決算)	建設水道委員会	剰余金処分は 原案可決 (賛成多数) 決算は認定 (賛成多数)
議案第133号	薩摩川内市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	—	原案可決 (全会一致)
議案第134号	教育委員会委員の任命について(軍神 利喜男氏)	—	同意
議案第135号 議案第137号	人権擁護委員候補者の推薦について(3人) (押川 丞輔氏、西垂水 けい子氏、北蘭 千勝氏)	—	同意
議案第138号	平成29年度薩摩川内市一般会計補正予算(第3回) (補正額 107,324千円)	—	原案可決 (全会一致)
議案第139号	財産の無償貸付について(旧黒木温泉公衆浴場の土地及び建物を黒木地区コミュニティ協議会へ)	—	原案可決 (全会一致)
議案第132号	平成29年度薩摩川内市一般会計補正予算(第4回) (補正額 100,000千円)	総務文教委員会 企画経済委員会	原案可決 ※記名投票(下段)

※議案第138号一般会計補正予算は、議案第132号一般会計補正予算より先に議決したことから、補正回数を第3回としています。

▼記名投票(電子表決)の結果【議案第132号 平成29年度薩摩川内市一般会計補正予算】 ※甕島地域宿泊施設支援事業が計上

議員名(議席番号順)																				投票結果		議決結果						
坂	松	落	橋	森	常	下	成	持	徳	中	福	川	今	宮	石	森	井	永	福	大	杉		川	瀬	上	新	賛成	反対
健	力	久	芳	晃	裕	政	幸	秀	武	由	光	公	裕	兼	浩	靖	勝	伸	俊	博	道	善	和	一	春	20		
太	力	光	芳	晃	達	喜	太郎	行	次	美	一	貴	一	実	浩	子	博	一	一郎	博	朗	照	敬	誠	二			

※投票は、議長(新原 春二)を除く議員で行います。表の見方は、○=賛成、●=反対

ふるさとが生み出す絶景…

# 川内川 あらし

## ま ち の 話 題

広報委員会から市民の皆様にお届けします。  
(記事：成川幸太郎委員、坂口健太委員)

私たちのふるさと薩摩川内市内を雄大に流れる川内川。九州でも2番目の流域面積を誇る大河への市民の皆様へのイメージはどのようなものでしょうか。歴史的に豊富な水と魚などの水産資源により人々の暮らしを潤してきた一方、数多くの水害に苦しめられてきました。また、川内川流域から発生する霧は、朝の通勤や通学の際、視界を悪くするなど、いいイメージはないかもしれません。

しかし、実は、この霧が全国的にも珍しい気象現象「あらし」を生み出していたことをご存知でしたか。



川内川河口の「川内川あらし」

発生した霧が川内川に沿ってゆっくりと下流に流れ出し、市街地を越え更に下流にいくと、川内川の両側が次第に山に挟まれていくため霧が次第に狭い場所に集まり、流れも次第に早くなることから、河口付近になると嵐のような強風が吹くそうです。この霧を伴う強風を「あらし」と呼び、日本でも数例しかない川内川で発生するこの気象現象を「川内川あらし」と名付けられています。

今年から、水引地区コミュニティ協議会や日本気象予報士会鹿児島支部、そのほかにも数多くの有志の皆様が一体となって、「川内川あらし」を通じてふるさとを元気にしよう、盛り上げようと「川内川あらしプロジェクト」がスタートしています。

水引地区コミュニティ協議会が主体となって整備された月屋山の展望台など数多くのビュースポットがありますので、市民の皆様も、この冬はぜひ「川内川あらし」をお楽しみいただければいかがでしょうか。

お薦めのビュースポットや詳しい情報は、「川内川あらし公式サイト」でぜひチェックしてみてください。

川内川あらし公式サイト  
<https://www.sendaigawaarashi.com/>



議会の動き

8月  
23 本会議  
議員全員協議会

9月

1 本会議（一般質問）  
4 本会議（一般質問）  
議会運営委員会

5 本会議（一般質問）  
7 企画経済委員会  
建設水道委員会

8 総務文教委員会  
市民福祉委員会

12 議会運営委員会  
本会議

19 議員全員協議会

22 総務文教委員会（決算審査）  
企画経済委員会（決算審査）

25 総務文教委員会（決算審査）  
企画経済委員会（決算審査）

26 市民福祉委員会（決算審査）  
建設水道委員会（決算審査）

28 企画経済委員会  
総務文教委員会

10月  
4 議会運営委員会  
本会議

議員全員協議会

川内原子力発電所対策調査特別委員会  
議会だより編集委員会

12 企画経済委員会  
（現地調査・13日まで）

16 市民福祉委員会  
（行政視察・18日まで）

18 総務文教委員会  
総務文教委員会

23 議会運営委員会  
本会議

25 意見交換会（西方地区コミ）  
企画経済委員会

30 建設水道委員会  
（行政視察・11月1日まで）  
（行政視察・11月1日まで）

11月  
2 議会運営委員会  
広報委員会

7 川内原子力発電所対策調査特別委員会  
（行政視察・10日まで）

9 意見交換会（高齢者クラブ連合会）  
議会運営委員会

17 川内原子力発電所対策調査特別委員会

20 議会運営委員会

21 本会議

11月  
29 議員全員協議会

第4回定例会予定

8 本会議（一般質問）

12月  
8 本会議（一般質問）

11 本会議（一般質問）  
議会運営委員会

12 本会議（一般質問）  
市民福祉委員会

14 総務文教委員会  
建設水道委員会

15 企画経済委員会  
議会運営委員会

22 本会議  
議員全員協議会

※日程は変更になることがあります。  
詳しくは議会事務局にお問い合わせください。  
【☎23・5111】



年始のごあいさつについて

議員は、公職選挙法により、選挙区（薩摩川内市）内における年賀状等のあいさつ状は禁止されています。（ただし、答礼のための自筆によるものは除く）  
市民の皆様のご御理解をお願いします。

広報委員会へ名称変更

「議会だより編集委員会」の名称を「広報委員会」へ変更しました。  
なお、メンバーは次のとおり変更はありません。

- 〔委員長〕 松澤 力
- 〔副委員長〕 落口 久光
- 〔委員〕 井上 勝博
- 成川 幸太郎
- 森満 晃
- 坂口 健太

編集後記

10月から「議会だより編集委員会」が「広報委員会」に名称変更となりました。今後は議会だよりだけでなく、様々な媒体も活用し、市議会について広報してまいります。市議会に関心を持っていただき、市民の皆様の声の形になる市政を目指して更に精進してまいります。

（松澤 力）

いつも議会だよりをお読みいただきありがとうございます。本号の内容は、9月定例会になります。非常に重たい議案について、熱のこもった審議もなされましたが、紙面でお伝えできていないか疑問なところがあります。今後、お時間があればぜひ、直接議場で傍聴もお願いいたします。

（落口 久光）



市議会だよりは、国産竹を10%使った紙（中越パルプ工業株式会社川内工場で製造）を使用しています。